

平成 29 年度第 1 回津島市スポーツ推進審議会議事録

日時 平成 29 年 6 月 30 日（金）

午後 2 時～午後 2 時 50 分

場所 錬成館 1 階礼の間

出席者 審議会委員 水谷会長、大鹿副会長、黒部委員、木村委員、後藤委員、
堀田委員、千賀委員

事務局 長谷川事務局長、中嶋課長、内原、鈴木

1 あいさつ

（水谷会長）

本日も議題が多くありますので、今後のスポーツ振興のため、委員のみなさんの忌憚のないご意見、ご審議をよろしくお願いいたします。

2 議題

（1）平成 28 年度スポーツ施設及び利用状況について

事務局：市内スポーツ施設について説明。平成 27 年度と 28 年度との利用人数の比較で大幅に増えている錬成館については、平成 27 年度に実施した耐震改修工事で施設が利用できなかった影響による増加。また、葉苺スポーツの家については、利用人数は減少しているが、利用件数はほぼ変わっておらず、利用率が高い施設となっている。総合プールや生涯学習センターの利用も利用者が増加している状況。

委員：生涯学習センターの体育室はクッション性のある床がバレーボールでは使いにくい。近隣の体育館を使うと市民の 3 倍ほどの利用料金が徴収される。大きな試合を呼ぶこともできないので、使いやすい体育館があると良い。

事務局：周辺にはあるが、津島市には総合体育館がない。財政的に厳しい面はあるが、総合体育館は課題である。

委員：屋外プールについて、水温が高いと聞く。適切な水温調節を。

50m の立派な屋外プールなので、7～8 月だけではなく、もう少し期間を延ばして利用できるようにしてもよいのでは。

事務局：できる限りの水温調整を行い、受付に水温を表示する等している。利用期間のことも含め、指定管理業者と検討しながら適切に管理していきたい。

（2）平成 28 年度スポーツ事業実施状況について

事務局：健康志向の高まりを受け、ラジオ体操や津島市駅伝競走大会、体育協

会主催の天王川マラソン大会等について参加者が増加。

平成 28 年度より、市民総合体育大会の開会式を 5 月に実施し、指導者向けに講演会を行った。また、インディアカ大会については、近年申込みチームが少なく大会を開催できない状況にあったため、平成 29 年度より中止とした。総合型地域スポーツクラブの活動のうち、平成 28 年度の立山での冬の自然体験教室については、大雪により中止となった。

学校開放事業については、年間で約 36,000 人、登録団体は延べ 85 団体の方々にご利用いただいた。

委員：異議なし。

(3) 平成 29 年度スポーツ事業計画について

事務局：平成 29 年度スポーツ事業計画について説明。

日程としては大きく変更した大会はない。

新規として、平成 29 年 8 月 10 日、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会が東公園多目的広場で開催予定。市制施行 70 周年記念事業として開催されるもので、NHK ラジオで全国に生中継される。

委員：駐車場や交通整理人員は確保するのか。

事務局：東公園周辺に 400 台以上の駐車場はあるが、1,000 人以上の方々が見ると不足も考えられる。そのため、暁中学校のグラウンドや周辺の民間企業にも依頼し、臨時駐車場を設けることとなっている。交通整理要因もしっかり確保していきたい。あと 1 か月あまりであるため、PR もしっかりとしていきたい。

(4) スポーツにおける怪我について

事務局：スポーツ安全保険にかかる事案 4 件について説明、経過報告。

硬式テニス 1 件、柔道 3 件

委員：柔道はアメフト、ラグビー等と同様怪我が多いスポーツ。しっかりと準備運動の指導を徹底してほしい。

(5) その他

委員：愛知駅伝のベンチコートについて、ぜひスポーツ推進委員の分もそろえてほしい。協力してくれている人たちに弁当も用意したほうがよいのでは。

事務局：スポーツ推進委員の中には、準備等で動き回るため、ベンチコートは必要がないという声もある。弁当の件も含め、スポーツ推進委員の声を聞きながら考えていきたい。